



中島 新一 議員を悼む

去る5月21日、中島新一町議会議員が急逝されました。

中島議員は、1期3年にわたり豊かな見識と経験により、町発展のために尽力され、また、今後の活躍が期待されていただけに突然の訃報に接し、残念でなりません。

6月1日定例会に先立ち、議場において追悼式が行われました。

追悼のことば

坂城町議会議員 中島新一君は去る5月21日、51歳の若さでご逝去されました。誠に痛惜の念に堪えません。議員一同を代表して謹んで哀悼の言葉を述べさせていただきます。

亡くなられた前日の5月20日には、臨時議会、全員協議会が開催されました。中島新一君はいつも通り、元気な姿で議会に出席されていました。それがその翌日、思いもよらぬ突然の知らせに、ただただ驚き、俄かには信じることができませんでした。

中島議員の空席を目の当たりにしている今も、受け止め難い思いが拭えません。

顧みるに、あなたは昭和45年12月4日、中之条に生を受け、平成2年3月に長野調理師専門学校を卒業し調理師の道に進まれました。平成11年には、家業である「木の実」に就かれ、昨年秋に亡くなられたお母さまとともに、持ち前の包容力と誠実な人柄で、多くの皆さんに愛される食事や場所を提供されてきました。

また、坂城町商工会青年部長や千曲川坂城陣太鼓保存会などの活動を経て、平成31年、議会議員選挙において初当選の榮に輝かれ、以来3年余にわたり、卓越した見識と情熱を持ち、精力的に議員活動を行ってこられました。

改めて、中島新一君が初めて一般質問されたときの議事録を読み返しますと、「町民のための豊かなまちづくり、同世代の声も町政に届けながら、この町の産業のさらなる発展のため、そしてわかりやすい一般質問を心がけ、日々精進し、議員活動に専念してまいります」と述べておられます。中島議員の一般質問の際には多くの仲間の皆さんが傍聴にいられていました。これも議員の人となりを示すものだと思います。

在任中、総務産業常任委員会副委員長や坂城駅周辺活性化特別委員、広報発行対策特別委員、葛尾組合議会議員などを務め、一般質問では、毎回、自身で調査した町内事業所などの景気動向を基に、国や県の施策を踏まえた町民や事業所に対する町独自の支援策について質問するとともに、コロナ禍であっても、坂城町が元気に活気づくように花火大会の開催を提案するなど、常に坂城町の発展を願って活動されていました。

志半ばでの急逝は、ご家族、ご親戚、ご友人はもとより、坂城町議会にとっても、大きな損失ではありますが、今はただ、今までのご功績、ご労苦に対し、心より御礼を申し上げます。

親しいお仲間のおひとりがおっしゃっていました。「あいつらしい最期だった。休むことなく全力で駆け抜けたんだ」と。

いろいろな方々の万感の思いを込めて、合掌いたします。

終わりに、中島新一君の生前のご意志を無にすることのないよう、議員一同、坂城町の発展に力の限り努力をすることをお誓い申し上げ、追悼の言葉といたします。

令和4年6月1日

坂城町議会議長 小宮山定彦